

## 京都府立京都八幡<sup>やわた</sup>高等学校・京都府立八幡<sup>やわた</sup>支援学校

(京都府八幡市)

公立高等学校と公立特別支援学校が同一敷地内に設置され、その立地条件を生かした活発な交流活動が、年間を通して行われている。両校の児童・生徒の交流を通じて、ノーマライゼーションの考え方とその実践を学ぶことができる教育環境となっている。

### 【功績概要】

京都府立京都八幡高校南キャンパスと京都府立八幡支援学校が同一敷地内に設置され、両校が相互にスクールパートナーとして活発に交流及び共同学習を行っている。両校は渡り廊下でつながっており、両校の校舎の間には、児童・生徒が日常的に交流を行うための場として「交流広場」等も設置されている。

交流活動としては「授業交流」、「昼休み交流」、「行事交流」の3つの交流が行われており、特に「昼休み交流」では京都八幡高校南キャンパスの生徒の希望者が八幡支援学校の教室や食堂で一緒に昼食を食べ、食後には共に遊ぶなど自発的な交流を展開している。

障害のある人となない人が活動を共にする機会を積極的に設けることで、ノーマライゼーションの考え方と実践を学ぶことができる教育環境となっている。



校舎間にある「交流広場」



両校の授業交流の様子